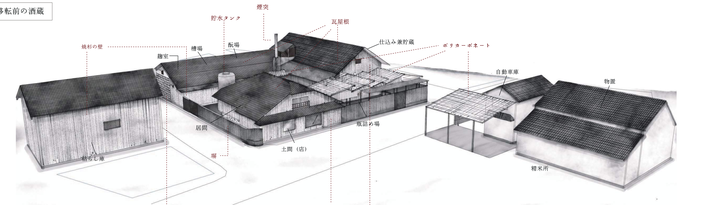
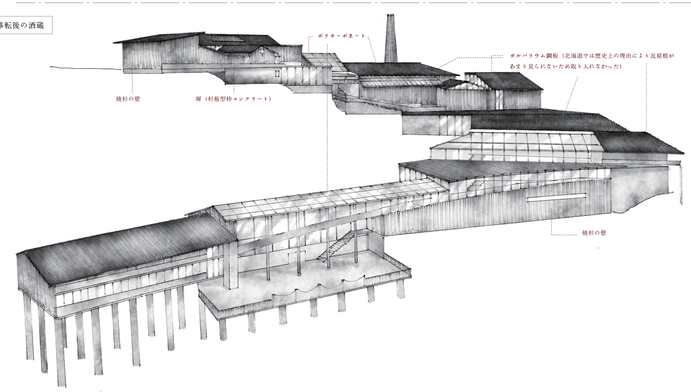
移転前の酒蔵



移転後の酒蔵



千歳美郷酒造の敷地は位置する酒蔵、蔵をめぐる酒蔵の要素を持ち合わせて如き風景を内蔵をもつ。2年前工主人が亡くなり現在製造休止となっている。

現地調査・聞き込みから

- 老朽化が目に見えてみられ、創業120余年
- 仕込み日は三月～五月
- 温度管理が不良
  - →麹は各室に入れたケヤキのメッシュを入れて冷やすとそれ冷感じていた（麹が元来冷を温度がある方向あがりはいりやすい）
- 酸っぱくあがりやすい
  - →雑菌の高ー高を観測
- 混濁について
  - →酒が直接ボヲカーボ部温度すれ直接はいる。
  - ←製造してやったら直温のを地域住民に手伝ってもらったりすると地域との関係が深まった
- 故障箇所について
  - →かつて石鹸製造工が来て製造を行っていた
- 樽室の湿度
  - →あり、製造は行っていてないものの設備は全ビビりのまま残っている

室蘭市は山を切り開いて市街地が形成されてきた住民と工業の中心である。鉄鋼が多く室蘭マンが進んを現道に指定する。山と海の調和が図と、工場が美しい自然が編ラを下は土を風景は絵にはで一緒にやすい。室蘭農地部は起伏は、かつて原生の風景が一望出の住宅地の場所にある。自然が等十出しの絵は面が様がやすい。周囲に山海のドトドと迫て平空間部がにがも。かつては敷合住宅地部のの水道は点のが。既存部に解体さの現住宅地でもっている。

室蘭現地調査

古き良、雰囲気が残する
木造住宅が見える
地域住民が集まれるような広場
地域住民が集まれるような広場
地域住民が集まれるような広場